第138号

やるなと言われても やれと言われても やらねばならぬ時がある やれぬ時がある

教空上人

です。 十四世教空上人から頂いた忘れ得ぬお言葉 これ は、 私が住職を拝命した時に、

第八

ることとなります。それでも、どうしてよ せん。そこで、悩みに悩んで他人に相談 ると、なかなか決断できるものではありま 自分の一生を左右する〝だいじ事〟 とな

か分からない場合があります。 この教空上人のお言葉を

噛みしめてみます。そうすると、 てまいります。 ではありますが、自分の歩むべき道が開 私はそんな時、 おぼろげ

えていただいたことでした。 「自分の道」を決める縁はここにあると教 人それぞれで人生の道は異なりますが、

総本山 永観堂 禅林寺

写真説明 長谷川等伯筆 波涛図(部分) 重要文化財

みかえり 第139号

人の世はみな 春の雪

さりながら

共に不急の事を諍う世人薄俗にして

-無量寿経

第一生世法主丹羽観堂狼下手成元年四月十六日午前十八時

晋山式執行

然本山水観堂禅

地位……などがあったら、しあわせだとお金、健康、寿命、物、住宅、権力、

たしかに必要なものです。しかし、一つ思いますか。これらは私たちの生活には

得ればもう一つと、次から次へと膨 あ 苦しみを大きくしています。 がって、心が安らぐどころか、 わせは、 消え去るしあ わ せ。 これら かえ 求 do 1 0 n あ

春の淡雪のように溶けてしまわない本当求める程しあわせにはなれません。

0)

「しあわせ」とは何でしょう。

総本山 永観堂 禅林寺

平成元年四月十六日午前十一時 第一生世法主山羽観堂稅下

素直な心になるために

山上人一 すなり 美しく、豊かにみせようと気をつかう。 は愚人である浅ましさから、なるべく賢く けたらいいのだろう、と考えられる。私ども 卒壽をとうに越えられた松下幸之助さんが 素直な心になるためには、どんなことを心掛

仏

2 中

顕

1

玉う

の徳より我等が

心の濁

りを澄

仏

る 13

我等

③寛容

④真の相が見える ②耳を傾け

⑥すべてに学ぶ

①私心にとらわれない

「しかし」と、経営の神様松下幸之助さん つぎの十ヵ条をおっしゃっている。

⑦融通無碍 5道理を知 3

8平常心

⑨価値を知

も老若男女を問 ないものばかりだけれど、できないながら どれもこれも、 わず、 ひとつとして私には備 日々新たに、努力して ⑪広い愛の 15

信あるものの生き方なんですね 総本山 永観堂 禅林寺

ゆく姿が、

みかえり 第141号

心ある人の法は

老いることなし

法句経-

第一生世法主以羽観堂犯下手成元年四月十六日午前十八時

晋山式執行

然本山永 観堂禅林去

る。 葉には、深く、味わいのある真理が宿ってい ながい生涯を生きぬいてきた古老たちの言 しかし、時としてその生涯が、自身の欲望なら、ひとは耳を傾けることも、なおさら真理を読みとることもしないだろう。そこには理を読みとることもしないだろう。そこにはは、ひとへの慈愛という心使いもなく、独善く偏見、権利の主張のみが横行する世界があるだけだから。

思う、そんな年寄りを持ちたく思う。かれることがある。そんな年寄りになりたくどの感動を生むが、古老の、腹からしぼりちどの感動を生むが、古老の、腹からしぼりち

総本山

永観堂

禅林寺

第142号

悲しみのない人はいない

それは人間ではない

ています。

もしそんな人がいたら

世と云った意味もここにあります。ところ 悲しいのです。昔の人が、この世を、憂き が、一部の人は、この世を、浮き世と感じ 人間だからこそ、生きているからこそ、

その悲しみを拭いさる方法はないのか その時見出していくのが、みほとけ としての真実の響きが感じられます。では 誰もが経験したことではありませんか れがほんとうにできることでしょうか。 しくださる一筋の白い道だったのです。 いけば良い、という人達です。しかし、 (うたげ)の後のあの索漠とした空しさは 浮きうきと、おもしろ可笑しく暮らして 悲しみのない人はいない。ここには人間 のお示 宴

総本山 永観堂

禅林寺

写真説明 四月十六日執行 新管長丹羽観堂猊下晋山式

第143号

生ぜんと願ずるは 楽しみのための故 13

また

私もひとつ行 かれています。 三部経』には、

ってみ

るか。

何

ナニ、そこ

ス

''/

ゴ ク楽

L

世界」として

浄 描 土

お浄土の様子が具体的に

「そんなに楽しい所なら

曇鸞『往生論註

まさに往生を得ざるなり

行くには念仏を称えりゃい よし念仏称えましょう」 ています。 のでは、ダメだと、 こんな打算的な考えで、 ここでははっきり云 極楽参りを願 て?

です。 果としての、 気づき、 ての永遠の平安を与えてくれるところなの ころでは 人として煩悩の攻め この世の 極楽浄土は、 快楽の園ではないのです。 その なく、 血 煩悩 極楽浄土なのです。 みどろの苦しみ、 欲望を満足させてくれる 欲望をとり去った結果とし 0) ない に苛まれるからだ、 世界を希求した結 悲しみが

総本山 永観堂 禅林

写真説明 流祖 西谷浄音上人頂相図(西谷忌五月二十二日)

第144号

と も、 と云う、 以前、 みんな政治が悪いのよ、

他ととも 生きること 自ら を生かす が

道

族一緒に安心して暮せる日本に た政治家がありました。なぜ、「貧しくとも、 のでしょうか。自分さえよかったら、外国のこ わがまま、な風潮だから、 電信柱が高いの 老人たちのことも、どうでもよい。こんな 「老後は物価の安い外国で暮せ。」と云っ しよう。」と云わな

便ポストが赤いのも、

天地自然、多くの人々に支えられているのです。 私たちは決して一人では生きられません。仏菩薩 わがままな世の中になります。

総本山 永観堂 禅林寺

写真説明 鶴寿台天井画、百華之図、丹羽観堂法主猊下御揮毫

願 生かされて 5

まさに 知るべし 本誓の重願 むなし からざることを

大



陰をつ に語 した。 1) 7 疲 夏 れを癒 プラタナスを見上 ۲ の木を無用 なんて思知ら ました。 てくれている 日、 で実 一げて のならないも プラタナスの恩を受け な人たちだ、 いた小鳥が ラ な」と、 9 ナ こうして日 のだとい it ス つぶやきま 実がなら 0) たが ました。 木 0

暑さで疲 ほど して 果 お のご恩を受けて て ます。 7 私たちが今、 げさま」です。 ところで る旅 は目 に見 生かされ 3 プラタ 0) ええな 間 7 ナ か与えら ス n は

総本山 永 観堂 禅林寺

写真説明 平成元年度教師補講習会閉講式

第146号



如来を彼岸に感ずる時 如来は此岸の我らに

ーきたよ、 くらい の子供のこえです。 きたよ、 ケーブル が迎えに来たよ」。

来りたもう

四

所 た時 比 叡山へ 乗せて行ってくれます。 のことでした。 登ろうとして、 フル 老若男女 カ 0 0) て山 別なく平 迎え ケーブルカーを待っ 頂 行 があ it る ればこそ出 0) は、 正書 同 来 7

えるのです。 ひるかえっ て山 頂に て先 立 てば、 0) 子供の言葉は、 同じ光景、 同 じ喜びを味 "他力" 0) 直

わ

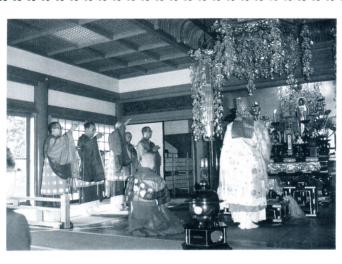
総本山 永観堂 禅林寺 を見事に言

い当てていると思います。

写真説明 本山役宅の上棟式 平成元年七月二十六日厳修

みかえり 第147号

生まれ子の 智恵づきて 次第しだい 仏に遠くなるぞ 悲



「Kちゃんの目、かたいなあ。」ことがある。先日もその子を目の前にして、三才なのにときどき夜遅くまでおきている

と。するとその子は

るようにこう言った。と、自分の眼を小さな両手でおさえ、確かめて、ちゃんの目、かたくないよ!」

とめることのできる心~、人の言葉を素直すぎるぐらい素直に受け笑い話のようであるが、そのとき私は、

せるのです。た、そんな透きとおった美しいものを見い出た、そんな透きとおった美しいものを見い出たさな子の心の中に私たちが忘れてしまっの大切さを教わったような気がした。

総本山 永観堂 禅林寺

写真説明 九月十二日、 わが宗派唯一 の原爆被災寺院(広島慈仙寺)での追弔法要。

死ぬべきものが 今生きている

自分の今日を喜びたい



、生者必滅 会者定離

年老いて人が亡くなると涙を流 離 たった一度この世に生まれてきたことも、 た人々ともいつかは別れていきます(会者定 んでいきます(生者必滅)。 ってたった一度死んでいくことも大切にした 私達は赤ちゃんが生まれてくると大喜びし だからこそたっ そう思います。 この世に生命を授かっ た一度出会ったことも この世で出会っ た者は必ず滅 します。 そ

総本山 永観堂 禅林寺

京都市深草墓園秋季法要に出仕

写真説明 九月廿五日

みかえり 第149号



どんなふうに 生きるかどんなふうに 死ぬかでなく

佛の大悲心を学ぶ

善導大師

ことによって仏さまの知慧と慈悲とが私たちに働 とのできない知識や経験が、 かけて下さっていることを学びとることです。 験することによって、より広い視野が開けてきます どれほどの人を知り得たかは、その人の財産です。 って話を聞き、その人柄にふれる。 そして、それよりももっと大切なことは、法を聞く 第二は、人に出会う。人生は出会いです。人に会 第一は、書を読む。 第三は、旅に出る。人情、風俗、習慣 この人生を生きぬ くため 自分が 本の中に 必要な三つの 生か どんな人に会い あります。 ―それらを体 ても知るこ 知 4

写真説明 一月開催、 恒例の 、秋の特別寺宝展、 鶴寿台

総本山 永観堂

禅林寺